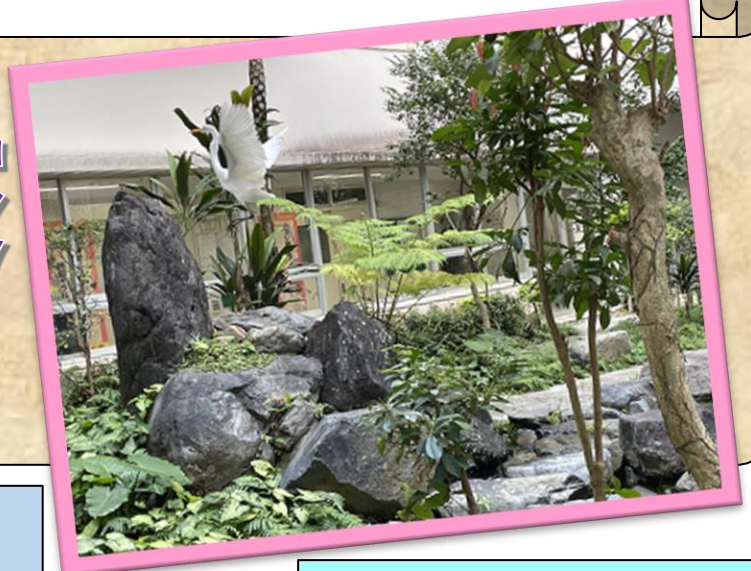


那覇国際高等学校

学校だより 第11号

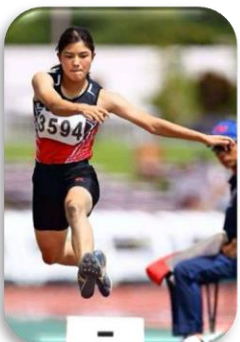


跳躍2冠大会新記録！

2年9組の松川そらです。跳躍二冠、そして三段跳で大会新を出すことができとても嬉しいです。前回の大会から記録を伸ばし、県記録に近づくことができました。新人九州では県記録を狙いながら二冠を目指せるように頑張ります！



松川そらさん
(2年9組)



陸上の「第52回県高校新人大会」が9月19日から21日に県総合運動公園陸上競技場にて開催され、本校の松川そらさん(2年9組)が女子走り幅跳びと三段跳びでそれぞれ大会新記録で跳躍2冠を達成しました。松川さんは、10月3日から滋賀県にて開催される「国民スポーツ大会」及び10月10日から本県にて開催される「全九州新人大会」への出場権も獲得しました。おめでとうございます。

卒業生（大学生）講話！



進路

今年3月に本校を卒業した先輩の大学生活の様子を聴くことで、進学への意識高揚を図ることを目的に、9月2日、「先輩に学ぶ」進路講話が実施されました。

上地かりんさん（横浜国立大学）
金城 遼真さん（筑波大学）
仲宗根芽依さん（琉大医学科）
石橋 愛さん（神戸大学）
仲村 りおさん（早稲田大学）
屋宜 宣太さん（琉大医学科）

県英語スピーチコンテスト 優秀賞！



Congratulations!!



「第60回全沖縄高等学校英語弁論大会」が9月18日、恩納村の沖縄科学技術大学院大学(OIST)にて開催され、本校の東恩納沙奈さん(2年9組)が第2位にあたる「優秀賞」を受賞しました。

9月18日にOISTで行われた沖縄県英語弁論大会にて優秀賞をいただくことができました。すごく悔しいです。包括的性教育の大切さを伝えることはこれで終わりではないので、この経験を糧に精進します。応援・サポートありがとうございました。



東恩納沙奈さん(2-9)

今後の行事予定

- 10月
- 3日(金) 国内研修事前学習① 3学年レク 全体清掃
- 6日(月) 後期放課後講座開始 第2回いじめアンケート(～10日)
- 7日(火) 2年進路集会 総探:クラス代表発表会
- 8日(水) 3学年集会
- 9日(木) 1学年集会
- 10日(金) 第3回仮装コンテスト(1・2年) 共通テスト100日前集会(3年)
- 11日(土) 記述模試(3年必修) 全国記述模試(1・2年希望者)
- 14日(火) 必修小論文模試(1年) 志望履修書作成(2年)

生徒作品紹介！



音楽コンテスト 銀賞！

県高校音楽コンテストが9月12日・13日に「うるま市民芸術劇場」にて実施

- 【声楽の部】
銀賞 玉城 珠莉亜(3-3)
- 【ピアノ独奏の部】
銀賞 比嘉 心春(1-7)
- 【ヴォーカルアンサンブルの部】
銀賞 小林 琉聖(2-1)
仲田 吏李(2-2)
吉田 陽季(2-3)
賀数 紗希(2-3)
松川 結貴(2-4)



ヴォーカルアンサンブルのメンバー

名言・名句

A true hero is not somebody who beats a bad guy. A true hero can sacrifice oneself to help somebody in need.

本当の英雄とは、悪者を倒す人のことではありません。本当の英雄とは、困っている人を助けるために自分を犠牲にできる人のことです。

【解説】

これは「アンパンマン」の原作者として知られる、漫画家のやなせたかし氏の言葉である。

「それいけ！アンパンマン」は「世界で最もキャラクターの多い単独アニメーション・シリーズ」として2009年にギネス世界記録に認定されました。



合格体験記 10（静岡大学 工学部 化学バイオ工学科 学校型推薦）

(1)この大学(学科)を選んだ理由

私は、プラスチックによる環境問題をリサイクル技術によって解決したいと考えています。中学生の時、地元沖縄の美ら海水族館で大好きなイルカがプラスチックによって苦しむことがあることを知りました。この問題をどうにかできないか調べていくと、リサイクルという幼い頃から興味のあった化学の視点を通じて解決出来ることが分かりました。私は、リサイクル技術の発展に携わることで循環の輪を広げ、海の環境を守っていきたい。化学バイオ工学科では、化学を基礎から工業的な発展まで総合的に学ぶことができ、工業を環境に配慮しつつ効率化するための研究が行われている点で私の目標実現に必要な力が身につけられると考え、志望しました。

(2)高校在学中の勉強方法について

ほとんどは、参考書や教科書、模試を使って勉強しました。分からないところは動画で理解を深めていました。オススメの動画は以下です。オススメ動画:数学(超わかる高校数学)、化学(スタサポ)、物理(ただよび)、地理の地誌(ただよび)、国語(パスラボ)、英語(パスラボ、音読練習動画)

(3)先輩へのアドバイス

まず、基本的に選抜方法は推薦や私立を除くと前期、中期、後期の三回です。前期の試験日は国公立大学ではだいたい同じです。中期、後期はすべての大学が実施しているわけではないし、大学によって中期と後期の日付が異なるのでしっかりと調べましょう。

(4)その他

共テを課す推薦(ここで合格) これは、母から私の志望する大学の中では倍率が低いということで紹介されました。私は、平均評定4.8あったので受けてみることにしました。9月ぐらいから準備を始めました。入学手続きをした後に他の大学に受かって推薦で合格したところを優先するので第一志望を受験しましょう。この推薦の特徴としては、共通テストの点数が選考に関わってくる点です。そのため、共通テストを受ける前も後も多くの時間をこの推薦の準備に費やさないといけないというデメリットがあります。また、選抜方法も学部ひいては学科によって全く異なる上、受ける人数が少ないということもあり情報がほとんどないハイリスクハイリターンな入試です。メリットは、採用は総合的に評価されるので、全くなんの手応えが無くても受かることがあるということです。落ちたとしても県外なら前期のシミュレーションにもなるし、県内でも一度大学内で試験を受けておくというのは気持ちが楽というアドバンテージを得ることができます。塞翁が馬というように何が評価されて合格するかはもうわかりません。しかし、元気さと負けず嫌いの気持ちがあればいいのかなと思いました。これを読んでくれたあなたに幸運が訪れることを願っています。 本校25期生(令和7年3月卒業) 男性